

被爆80周年特別企画 戦争と核の実態を学ぶ

NPO法人ワールド・フレンドシップ・センター



日時：2025年8月6日(水)10:00-13:00 (開場9:50)

会場：エソール広島（おりづるタワー10階）広島市中区大手町1-2-1

定員：60名

※対面のみのイベントです オンライン配信はありません

参加費：無料

申込：QRコードまたはメールでお申し込みください



第一部 被爆証言 10:00-11:30

近藤康子さん 【英語通訳付】

「生かされて80年」

ピカッ・ドーンとなった時、9か月の妹が
ギャッと叫んだ。その瞬間、妹の開いた口に
ガラスの破片が、バラバラ…と飛び込んだ！

1940年生まれ84歳。4歳の時広島市西区高須の叔父の家（爆心地から3.5km）で被爆。1999年から広島市のピースボランティアとして平和資料館や公園を案内している。2015年から被爆証言者として活動中。

第二部 プレゼンテーション 11:45-13:00 【日本語通訳付】

「核のトラウマ 再起する力」

マーシャル諸島ビキニ環礁では1946年から12年間、水素爆弾核実験が行われました。

"社会的責任を果たすためのワシントン医師団"の主催で、デビッド・ホール博士の核兵器廃絶プログラムにおける新進リーダー7名が来広します

Robin Narruhn



シアトル大学准教授。
ワシントン大学で看護学の博士号
を取得。地域社会と住民の健康に
ついて研究している。父親はマー
シャル諸島からの移民者。

Natasha Note



両親がマーシャル諸島の出身
で、父親はビキニ環礁出身の
日系人。エベレット・コミュ
ニティ・カレッジ在学。刑事
司法専攻。

特定非営利活動法人ワールド・フレンドシップ・センター

〒730-0842 広島市中区舟入中町11-13 クレール舟入中町302

082-503-3191 (火曜日～金曜日10:30～15:30)

office@wfchiroshima.org



申込フォーム